

北沢デザイン通信

第1号

～思いつながる、人つながる、街つながる～

平成26年11月発行
世田谷区北沢総合支所街づくり課

「北沢デザイン会議」
が開催されました

「上部利用デザインワークショップ」
が始まりました

「アンケート」に
ご協力ください

世田谷区では、東北沢駅、下北沢駅、世田谷代田駅の各駅周辺において、小田急線上部利用の施設配置（ゾーニング構想）に基づき、施設整備に向けた検討を進めています。

この北沢デザイン通信では、小田急線沿線の街づくりの情報と区施設に関わる上部利用デザインワークショップの経過を総合的にお知らせします。各施設の整備ワークショップなどについては、詳細が決まり次第お知らせしていきます。



①北沢デザイン会議の様子

【平成26年度の取組み】

①「北沢デザイン会議」：小田急線沿線の街の未来を考える場、誰もが自由に参加できる情報共有や意見交換の場です。「北沢デザイン会議」は8月26日に開催し、約200名の方々にご参加いただきました。【詳細はP2～P3】

②「上部利用デザインワークショップ」：街歩きやグループ討議などを通じて、区が線路跡地に整備する通路、緑地・小広場等のデザインのあり方を示す「デザインコンセプト」をまとめます。10月4日に第1回を開催し、約50名の方々にご参加いただきました。【詳細はP4～P7】

③「アンケート」：小田急線沿線にお住まいのみなさんの声を広くいただくために、アンケートを実施します。【詳細はP8】

④上記の他に、「下北沢駅周辺都市計画道路の整備ワークショップ」などを開催する予定です。



②第1回上部利用デザインワークショップの様子

第1回

北沢デザイン会議 平成26年8月26日：「発表会」これからの街づくりへの思いを発表
「意見交換」会場のみなさんの意見を共有

「上部利用デザインワークショップ」
～デザインコンセプトを考える～

第1回

平成26年10月4日「街に出て考える」

今ココです



アンケートの実施

第2回

平成26年11月29日「デザインのポイントを考える」

第3回

平成27年1月17日「デザインコンセプトをまとめる」

「デザインコンセプト」の報告

第2回

北沢デザイン会議 平成27年2月28日(予定)：平成26年度の取組み報告
今後の予定

済

「公募終了」

「下北沢駅周辺都市計画道路
の整備ワークショップ」
※詳細は、別途ニュース
をご覧ください

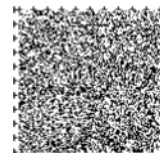
第1回

平成26年11月16日

第2回

平成27年1月24日

進捗状況の報告





■ 東北沢自治会会長 市川 美美子 氏

- ・自治会の要望は、街路樹や緑が多い散歩道、暑さ対策のミスト、自転車置場、防災倉庫、避難所にできる老人会館などの整備

■ 東北沢自治会防災部長 小宮 明 氏

- ・駅前キーワードは「緑」
- ・木造密集地に指定されているので、上部に被災者住宅を建てられるようにしてほしい

■ しもきた商店街振興組合理事長 柏 雅康 氏

- ・駐輪場を充実してほしい
- ・駅前広場予定地の一部を「しもきたスクエア」という広場として運営してきたが、利用者のマナーが悪く開放時間を縮小している
- ・将来造られる駅前広場などの利用マナーの向上

■ 世田谷代田 SAP 代表 齋田 佳子 氏

- ・10年前に子どもたちと壁画を描いた
- ・子どもたちと一緒に代田小で田んぼをつくっている
- ・富士山が見える場所を大切にしたい
- ・西端の公園を地域住民で管理運営したい

■ 株式会社パイブドビッツ

カンパニー本部 下北沢事業部長

I LOVE 下北沢 西山 友則 氏

- ・薄れてきた地域性を IT で再生している
- ・ウェブサイトにおける約 600 店舗の情報発信や、イベントを通じて街の魅力を伝えている
- ・下北沢の魅力は、街並み、演劇などの文化、魅力的な人々がたくさんいること

■ NPO せたがや子育てネット代表理事 松田 妙子 氏

- ・子育て支援のネットワークづくりをしている
- ・親子が過ごせる居場所づくりとして北沢5丁目で「おでかけひろばぽっこ」が始まっている
- ・下北沢は情緒的に過ごすことのできる“子どもの時間”がたっぷりある街である

■ コメンテーター 世田谷区長 保坂 展人

- ・緑、防災機能、駐輪場、利用者マナーの向上、住民による公園の運営、街の魅力づくり、ネットワークづくりなど、様々な思いを受け止めました
- ・上部では誰もがそれぞれのペースで歩けるひとつながりを大事にしたい
- ・上部に整備する施設はつながりをもって一体的にデザインすることが大切である

【東北沢地域】の将来イメージ

【防災対策の充実】

- ・北沢3～5丁目は木造密集地域で災害対策が必要

【駐輪場】

- ・改札口の近くに駐輪場がないと違法駐輪が多くなる

【もっとお店があるとよい】

- ・東北沢エリアに小さくて個性的な店があると良い

【擁壁の整備について】

- ・家の前に4mの擁壁ができ、住める環境ではない

【世田谷代田地域】の将来イメージ

【みんなで地域を作る】

- ・地域で運営する公園
- ・ドングリから育てる雑木林

【富士山の眺望】

- ・環七に整備される橋からの富士山の眺望を生かす

【上部の防災、公共的利用】

- ・周辺は住宅密集地なので、災害時の避難空間に
- ・小さい子どもの遊び場、公園、集会所がほしい

【下北沢地域】の将来イメージ

【歩行者空間】

- ・高齢者、子どもが安心して歩ける街
- ・茶沢通り側に改札口を作る

【駐輪場】

- ・違法駐輪が多いので駐輪場を充実する

【駅前広場の整備、活用】

- ・時代の変化に対応できるフレキシブルな空間
- ・演劇テントの常設やアートフェスが開ける広場
- ・親子が集う子どもの遊び場、緑、自然を充実する

【駅前広場のマナー】

- ・夜間に集まり大騒ぎをして迷惑にならないように
- ・商品が道にはみ出して陳列しないようにする

【ワクワクする街並み、雑多な商店の魅力】

- ・下北沢の路地文化を壊さず子どもたちに誇れる街
- ・小さくても個性的な飲食店、雑貨屋が絶えない街
- ・下北沢の商業振興をきちんと考える

【文化（演劇）を共有する】

- ・人々の表現、未完成な芸術を受けとめる街
- ・子ども、若者がゆったり卓球などをして過ごす街

【楽しいイベントが目白押し】

- ・下北将棋、下北夏祭り、カレーフェスティバル等

【若者がチャレンジできる街】

- ・あこがれの下北沢でチャレンジできる街

【街を分断しないような都市計画道路】

- ・小田急線の地下化により分断されていた街が一つになったのに、54号線によってまた分断される

上部全体について

【ひとつながりの空間】

- ・歩いてワクワクする一体感のある「ライン」
- ・緑でつなぎ、世界に誇れるデザイン
- ・小田急電鉄の施設も合わせて統一感あるデザイン

【歩行者空間】

- ・南北どこからも通り抜けられるように
- ・自転車と車の走らない、人のための道

【豊かな緑、生態系を地元で管理】

- ・火災の延焼を防ぐためにある程度密に植えた並木
- ・公園ではなく森を作る
- ・緑の育成管理は地域住民や商店街、町会で協力

【子どもたちが遊べる緑】

- ・子どもたちが水で遊べるスペースがほしい

【人と環境に配慮】

- ・世田谷区のユニバーサルデザインを世界に発信する

【街全体へ広げる】

- ・緑道から周辺の街へ歩いて回りたくなる工夫

【防災機能の充実】

- ・防災に配慮し、上部エリアは撤去しやすい建築物
- ・都市の防災帯は「川」と「鉄道」と「道路」なので、跡地は建物を建てず緑地として確保すべき

【跡地には公共的な施設を】

- ・老人会館の整備（避難時の宿泊所）
- ・老人会館は近場の空き家活用で対応する

【景観】

- ・新しくできる範囲では電線の地中化進めてほしい

これからの進め方

【情報公開と創造的な協働】

- ・多くの人を巻き込むプロセスと仕組み
- ・話し合いの場、意見を考える場を多く作って
- ・“新しい公共”にふさわしい本当の住民参加を
- ・決まったこと、話し合いの経過を情報公開する
- ・アイデアや意見を投稿するホームページを作してほしい

- ・次代を担う中高生や小学生たちの意見を広く聴く
- ・住民以外（下北沢の商店街に集まってくる若い人たち）の意見、要望を取込んでほしい

【海外の意見を聞く】

- ・建築家やランドスケープアーティスト、造形家の意見を取り入れる

【誰でも参加できる場として「街づくり協議会」】

- ・100年後のために、小田急電鉄も区民と参加を
- ・小田急電鉄のデザインに関する情報

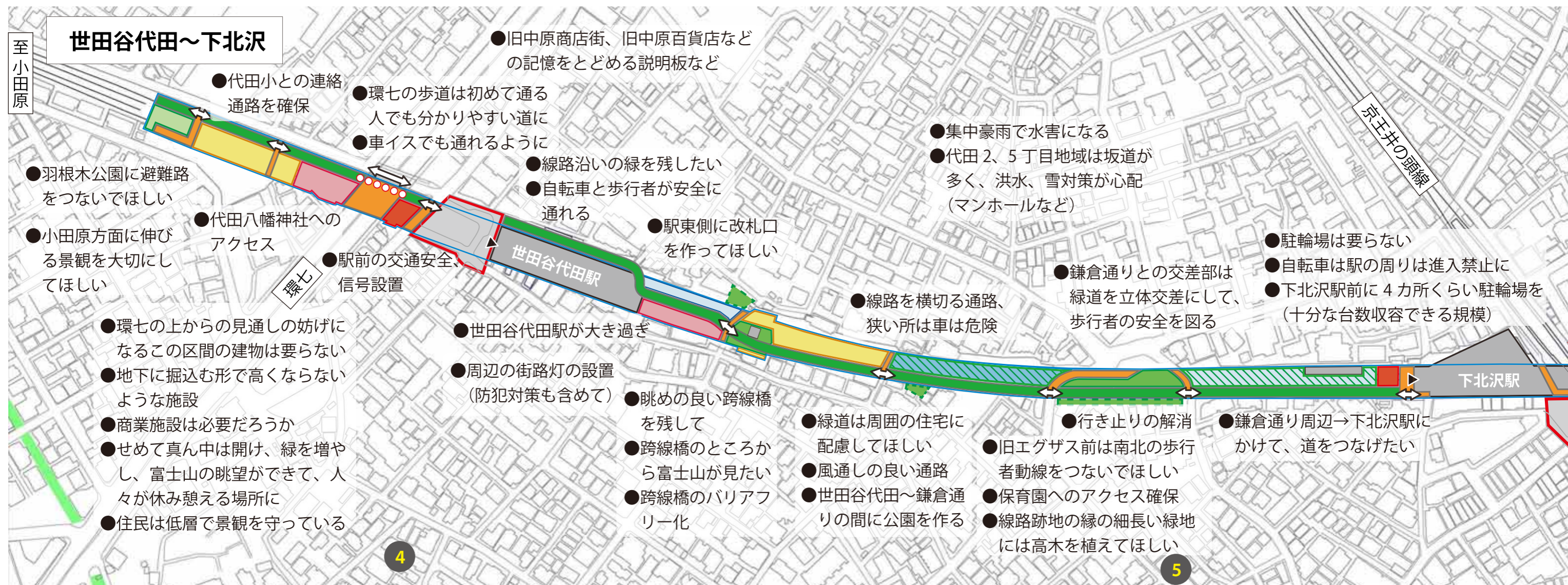
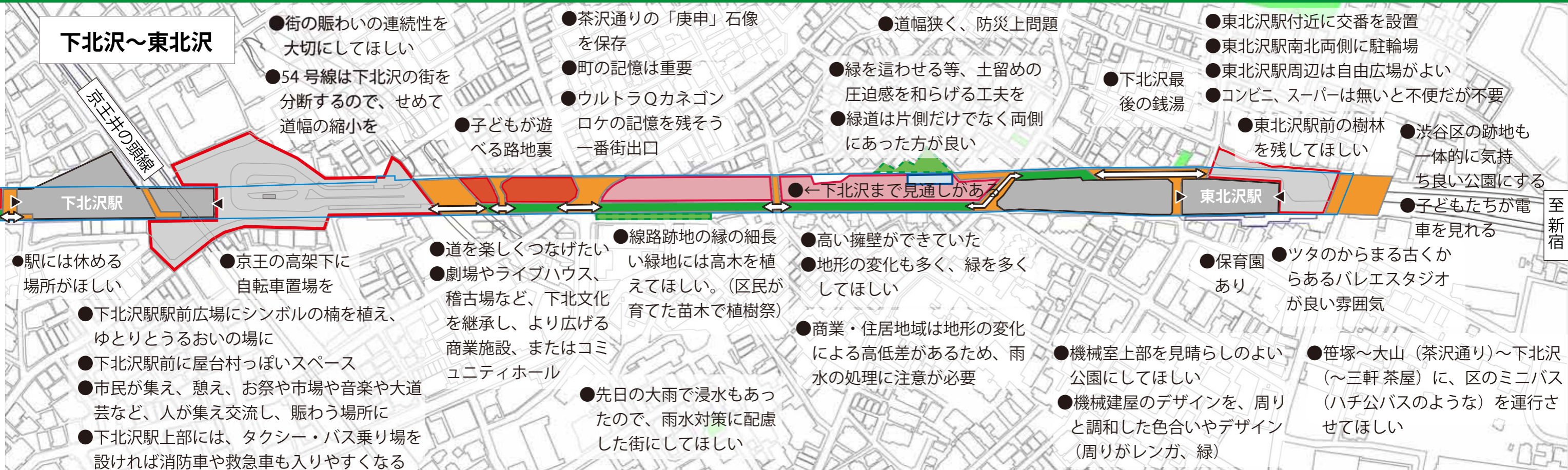
- ・世田谷区と小田急電鉄の管理責任を明確にする
- ・これらの素晴らしいアイデアを活かすために、小田急電鉄とどのように協議を進めていくのか不安

【学習の機会】

- ・鉄道地下化の他の事例を見学して参考にしたい

【デザイン会議について】

- ・北沢デザイン会議をガス抜き場にしないで
- ・ちょっと遅過ぎる



～東北沢地域～

- **通路は隣接する住宅地の防災に寄与**
 - ・ 周辺の住宅の安全に配慮し災害時に避難できる
 - ・ 上部が全部フェンスで囲まれるのは避けたい
- **周囲の住宅地となじませる**
 - ・ 上部と周りの住宅地をなじませる工夫がほしい
- **のんびり**
 - ・ 子どもとのんびり
 - ・ 高齢者の散歩路に、あちこちベンチ
 - ・ 静けさを守りたい
 - ・ 地形を活かし見晴しの良いゆったりした場所
 - ・ 住民の生活を豊かにする“いこい”の空間が
- **きめ細かな緑**
 - ・ 駅舎、設備建物の壁と屋上は緑化してほしい
 - ・ 通路に緑を配置してほしい
 - ・ きめ細かな緑の配置が求められる
 - ・ 個人宅の植栽が大切だ
- **人が落ち着くヒューマンスケール**
 - ・ 東北沢駅舎は近代的なドーンとしない方がよい
 - ・ 街の小道とつないで、小道をたくさん作る
- **利便性の向上**
 - ・ 駐輪場を改札のすぐそばに
 - ・ 東北沢にスーパーマーケットがほしい
- **新しい街は地域の歴史を踏まえたオシャレな街**
 - ・ オシャレな街を期待するが、これは住民の課題
- **江戸時代の歴史を伝える**
 - ・ 三田用水や薩摩藩の屋敷があったことを伝えたい
- **美しいデザイン**
 - ・ 美しい街並みに
 - ・ きれいな公衆トイレを設計してほしい
- **下北文化をにじませる**
 - ・ シモキタ＝文化、音楽、演劇
 - ・ ギャラリー、図書館、多目的小ホール
- **参加と情報公開**
 - ・ 既に擁壁など着手されているが、住民の意見、アイデアは反映されるのだろうか

～下北沢地域～

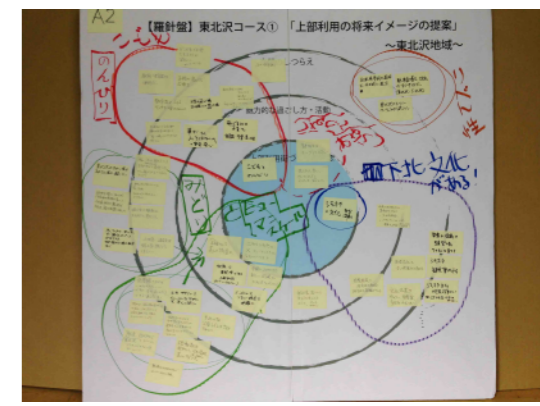
- **スクラップ&ビルドを止め、下北沢らしい知恵を**
 - ・ 東京は“街を残しつつ再建”ということが全くない
 - ・ 都内と同じ手法の再開発ではなく、シモキタらしい知恵をもっと出してほしい
 - ・ 商業地を商業施設で埋めるのは当たり前、商業地域にこそ大きな“空き地”を
- **長い時間的なスパン**
 - ・ 駅の周りは、長いスパンで考えて設計、整備する

- **庶民性と界隈性とヒューマンスケールのDNA**
 - ・ 街のスケール感をうまく残してほしい
 - ・ 路地裏を活かした街づくり
 - ・ 北側の市場の庶民性をなんとか再生したい
- **多様性がブランド**
 - ・ 色んなものが共存できる多様性を大事に
 - ・ 「住居」と「商業地」の区別をはっきりとさせる
- **下北文化のDNAをつづける、つなげる**
 - ・ 下北沢の従来の演劇、音楽の街を続けたい
 - ・ 若者が気軽に使えるスタジオ、ギャラリーがほしい
- **分断をしない街づくり**
 - ・ 駅前広場が街を分断せず一体性を保つ工夫が必要
 - ・ 上部の通路は東西南北がつながる空間とする
- **人の安全と車のゾーニング**
 - ・ 車、人の場所をきちんと分けたゾーニング
 - ・ タクシーが入れないのは現在のままで良い
 - ・ 駅前広場はタクシー乗り場くらいはほしい
 - ・ 幼児から子ども連れ、お年寄りが買物を楽しむ街
 - ・ 消防車が入れる道幅を確保したい
- **駅前広場のバリアフリー**
 - ・ 初めて来た人に分かりやすい道路
 - ・ 階段はなるべくなくして、スロープやエスカレーター、エレベーターを活用
- **通路の防災避難機能の確保**
 - ・ 跡地内に作られる歩行者用通路が狭い
 - ・ 緑地の植物は防火帯になるようなものを使う
- **自転車でのアクセスを確保**
 - ・ 工事中の今も一時利用ができる駐輪場がほしい
- **潤い、美しさのDNA**
 - ・ 下北沢、街中の看板類が汚い、統制してほしい
 - ・ 駅前の空間は超モダン、シンプルな美しい空間
 - ・ 上部利用全体のデザインを考えるアーキテクトを選んではどうか
- **遊び場オープンスペース**
 - ・ 子どもの遊び場を作る
- **緑でクールアイランドを創出し、風の道を作る**
 - ・ “見通し”を少しでも多く確保し緑が多い遊歩道
 - ・ 低木の植栽は樹種を組み合わせ自然な雰囲気
 - ・ 植樹、市民農園、コミュニティガーデン、遊び場
 - ・ 地域の人と植樹をしたり、草花の手入れをする
- **沿道のプライバシーに配慮**
 - ・ 通路を利用する人々と隣接する住民の間には、環境と防犯において課題がある
- **発信力のある取組み**
 - ・ 世界に発信できる上部利用

- **歴史が見える**
 - ・ どうしてこの地名になったか、かつてここに川があったなどが分かるようにしたい
- **情報提供**
 - ・ 下北沢駅ビルの設計図を区民に知らせてほしい
 - ・ 跡地の利用が始まる具体的なスケジュール
 - ・ 道路ができると雰囲気が変わるはずなので、道路も入れた図を見たい
- **住民にとっての街ではなくなった**
 - ・ 下北沢の周りは地元住民が飲食する店がなくなり、他所から来る若者向けの安い飲食店ばかり

～世田谷代田地域～

- **ステキな視点場と開放的な見通しづくり**
 - ・ 富士山の眺望を確保した街づくり
 - ・ 建物を低く抑え、東西への見通しを確保する
- **地域独自の景観を保全する**
 - ・ 環境や景観を守り、利便性が高く住みやすい街
- **上部でつなぐ**
 - ・ 上部と両側の住宅地の道路は接続する（防災対策）
 - ・ 通路と隣接する住宅の間に緑のバッファー（緩衝帯）を
- **公共性の高い空間づくり**
 - ・ 跡地の公共性は高く（公共地＞商業地）
- **見える歴史**
 - ・ 踏切の存在を記憶に残す
- **自然性の高い緑（オーガニックなランドスケープ）**
 - ・ お屋敷の古くからの緑と調和するデザイン
 - ・ シモキタらしい有機的（オーガニック）なランドスケープデザイン（作りこみ過ぎない植栽）
 - ・ トトロの森をイメージした日本的な森林を再現する
- **歩行者と自転車は共存？**
 - ・ 自転車と歩行者の共存を図る
 - ・ 自転車と歩行者は分ける
- **通路はバリアフリー**
 - ・ 住宅街から上部に自由に出入り出来るようにする
 - ・ 行き止まり通路の解消を
- **賑わいの創出**
 - ・ 世田谷代田駅には賑わいをもたらす商業施設を
- **防災機能の充実**
 - ・ 避難通路を分かりやすく伝える道案内板を設ける
- **様々な要素のつなげ方**
 - ・ 界隈性、つなげ方、積極的ワンクッション
 - ・ 計画敷地の容積率と建ぺい率を現況より厳しく
- **計画に関する情報提供**
 - ・ 駅前広場などは立体的に見える図面がほしい



* 羅針盤とは：ワークショップの意見集約に用いるキットの一つ。例えば将来イメージを描くときに、アイデアは様々な観点から思い浮かびます。それを「理念」「活動」「設え」に分類しながら、似たような内容をグルーピングすると、そのテーマの全体像としてまとめることができます。自由な発想を柔軟に受け止めるために作られたキットです。方向性を示すとともに形状が羅針盤に似ているので、「羅針盤」と呼んでいます。

郵便はがき

料金受取人払郵便

世田谷局承認

4313

155 8790

世田谷区 北沢

世田谷区 北沢

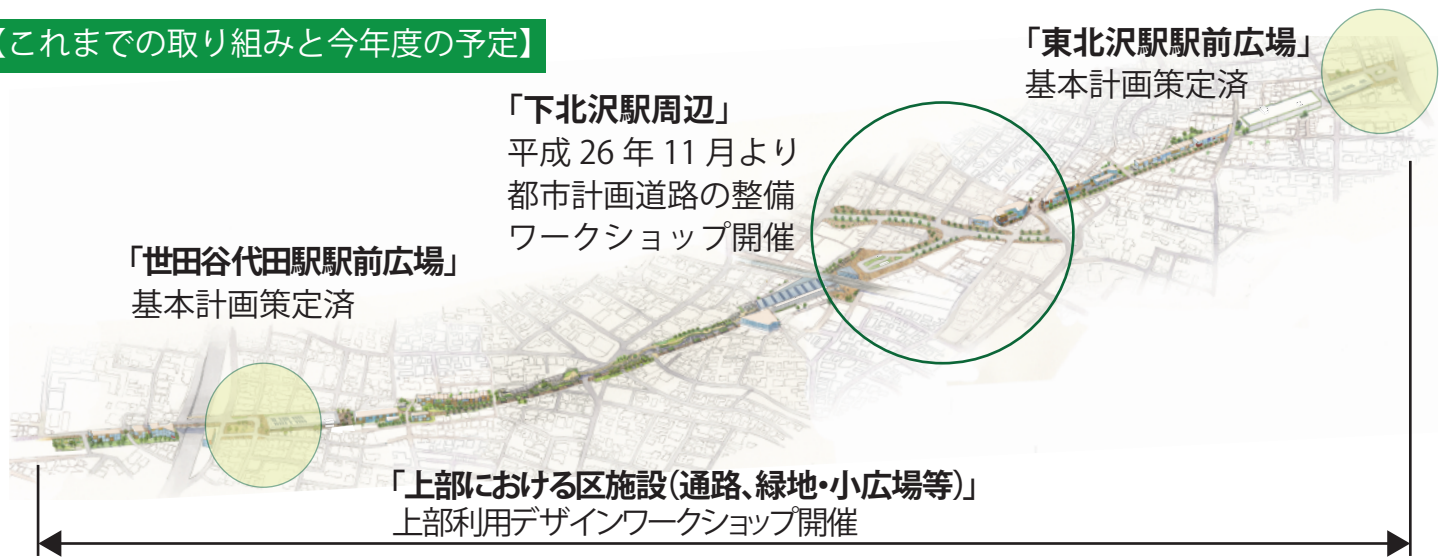
313

〒155-8790 世田谷区北沢3-13-313

【ご注意ください】
本号のホームページ版では、この部分を切り取ってハガキとして郵送利用することはできません。
ファクス送信するか、北沢総合支所街づくり課へ直接お持ち込みください。（書式問いません）
詳しくは8ページの問い合わせ先をご参照ください。

係 課 宛

【これまでの取り組みと今年度の予定】



■「東北沢駅前広場」、「世田谷代田駅前広場」

2つの駅前広場については、区民参加により基本計画の策定が終了しています。

※以上の諸施設については設計段階において「デザインコンセプト」に則ってデザインを進めます。

■「上部利用デザインワークショップ」

上部における区施設（通路、緑地・小広場等）全体のあり方について考え、「デザインコンセプト」をまとめます。

■「下北沢駅周辺都市計画道路の整備ワークショップ」

平成26年11月から開催予定です。道路空間の活用方法と道路施設の整備運営等を考えます。来年度も継続して開催します。

※上部利用デザインワークショップの検討内容と進行状況を相互に確認しながら進めます。

キリトリ線

小田急線上部の区施設や街全体のあり方について
「大切にしたい考え方」や「将来イメージ」

【アンケートのお願い】

「上部利用デザインワークショップ」では、小田急線上部の区施設（通路、緑地・小広場等）全体のあり方について区民参加を通じて検討し、平成26年度内に「デザインコンセプト」をまとめます。

「デザインコンセプト」は3駅周辺の街づくりを含めて検討したいと考えています。

そこで、より広く地区沿線にお住まいのみなさんからご意見をいただき、「デザインコンセプト」づくりに反映します。

上部の区施設や街全体のあり方について、「大切にしたい考え方」や「将来イメージ」を3つ程度の項目にまとめ、左のハガキにご記入ください。

■提出方法

①ハガキを切り取って郵送（切手不要）

②ファクス送信（03-5478-8019）

③北沢総合支所街づくり課に直接持ち込み

■締め切り

平成26年11月21日（金）

①消印有効 ②③は必着

【問い合わせ先】

世田谷区北沢総合支所街づくり課 担当:青木、渡邊、木村
〒155-8666 世田谷区北沢 2-8-18 北沢タウンホール6階
電話 03-5478-8031 ファックス 03-5478-8019